

学校ビオトープ ～芭露小学校池をビオトープ整備(2012.10.14)～

芭露小学校池は、芭露川や芭露地域の自然を縮小したような池。この池を自然学習の場にしようと「池を守る会」25名ほどが参加し、10月14日に池の手入れを行いました。

「池を守る会」は、芭露自治会や同校PTAなどで作る団体。当クラブも参加し、毎年、春と秋にカキで作った浄化槽の手入れや草刈りを実施しています。

水質改善の取り組みの効果もあって、エゾホトケドジョウやウグイなどのほか、オニヤンマのほか多くのトンボの幼虫が生息しています。また、今年はカモやサギも見られ、環境学習の場となっています。



げんきの森で遊び隊 ～ネイチャークラフトに挑戦(2012.10.13)～

子どもたちに森で見つけた材料で、ネイチャークラフトを楽しんでもらおうと、げんきの森活動委員会が主催し、10月13日に「げんきの森で遊び隊 ネイチャークラフト」が開催され、町内の小学4年から6年生 24名が参加しました。

雨天のため小枝やドングリの実などを散策して集めることは出来ませんでしたが、委員会で用意した材料をもとに、動物や虫など、思い思いのクラフトづくりに挑戦しました。



サーモンリバー・ツーリング ～鮭の遡上を見て豊かな自然を実感(2012.10.7)～

例年より暖かい日となった2012年10月7日。湧別川を遡上する鮭を見ながら川を下る「サーモンリバーinゆうべつ川カヌーツーリング」を開催しました。

今回は、メンバーの他に札幌のアウトドアクラブGNOME(ノーム)の皆さんや北見から愛好者が参加し、18艇、27名が開盛橋から河口までの約18kmのパドリングを楽しみました。

<ゆったりと川の自然を楽しむ>





コースは雨の影響で水量が多くパワフルな流れに押され、ベテランから初心者までスキルがまちまちの参加者でしたが、河口まで昼食休憩を挟んで4時間ほどで全員が漕破しました。

落差のある早瀬が連続する前半は、沈(転覆)や浸水、座礁が相次ぎましたが、何とか乗り切り、後半は浅瀬を遡上する鮭の群れや産卵する姿を眺め、上空を優雅に舞うオジロワシの親子、カワセミやヤマセミが川面を飛び交う光景に、湧別川の自然の豊かさと魅力をあらためて感じました。



◎GNOME会員のトドさんが、ご自身のブログでツーリングを体感できる動画や北海道の多くの美しい風景(今回の湧別川も)を紹介しています。どうぞ、ご覧ください。 [トドさんのブログはこちら。](#)

<早瀬で アクティブに>



湧別川を知ろう ～湧別中 1年生が湧別川でフィールドワーク(2012.8.29)～

湧別中学校1年生33名が、湧別川の自然を知ろうと、「川の学習」を8月29日に開催しました。

湧別中学校前での出発式の後、真夏を思わせる暑い日となった中、汗を拭きながらゴールの湧別高校を目指し出発。



ネイチャーゲーム(人工物を探せ！)

湧別大橋の下では、川原の花の観察とネイチャーゲーム(カモフラージュ)に挑戦。川原の花観察では、フランスギクやオオハンゴンソウなどの外来種やオオイタドリ、エゾゴマナなどの在来種を調査し、在来種と外来種の割合などを調べました。

ネイチャーゲームでは、設定コースに置かれた人工物をグループ毎に調査し、発見個数を競いながら楽しみました。人工物は、アヒルの人形や栗、花、ブドウ、カエルなど11種類。楽しみながら観察する目を鍛えました。



ウライ(鮭の捕獲場)

上流のサケマス増養殖場付近では、川に設置されたワライを見学。鮭の養殖に欠かせない遡上する鮭の捕獲作業について知りました。

新中土場川と湧別川の合流地点では、中土場川の水質を確認し水が浄化される様子や湧き水地点を見学し、川の仕組みを知りました。

ゴール手前の中湧別北町付近では、オオイタダリの森を掻き分けて進みワイルドな体験をと計画しましたが、河川維持工事で歩きやすい通路が出来上がり、この体験は次回に。

昼食後、アースボールとブルーシートを使って、生徒全員でどこまで高くアースボールを上げられるか に挑戦。悪戦苦闘を繰り返しながら、上げ方の工夫や号令のかけ方など、生徒自身で作り上げていました。その甲斐あって、最後は5mを越す高さまで上げることが出来ました。1年生33名の団結力も一段と強くなったようにも思います。



アースゲーム

(アースボールは40cm。これを地球に見立てると月は10cm。ソフトボールより少し大きい程度。)

つり&カヌー、せせらぎスクールinゆうべつ川 ~ ゆうべつ川で遊ぶ、学ぶ ~

川に棲む昆虫や魚などの生き物を観察し学び、釣りやカヌーなどで遊びながら、ゆうべつ川の自然を知ってもらおうと、「つり&カヌー、せせらぎスクールinゆうべつ川」を7月29日に中湧別橋右岸の川原で開催しました。

参加してくれたのは、夏休みに入ったばかりの小学生や保護者など、18名。



初めに川原のゴミ拾いなど、清掃活動を行い、早速、川に入って、川に生息する昆虫や魚などを採取。

ヘビトンボやヒガタカゲロウなどの幼虫やモズクガニ、ウグイやヤマメなど、多くの生物を捕まえました。

また、川での漁法の一つ、投網も実演され、子どもたちは興味深く見つめていました。

採取した沢山の昆虫や小魚などを分類し、環境調査の専門家から、それぞれの生態やどんな環境に棲息するかを解りやすく説明を受けていました。

昼食後は、釣り組とカヌー組に分かれて、釣りのカヌーを楽しみ、川面はマメ太公望とマメカヌーイストで活気づきました。





北海道フラーソン2012 ～図鑑片手にじっくり調査～

北海道新聞、北海道新聞野生生物基金が主催する「北海道フラーソン2012」に、YU-PALも参加しました。

北海道フラーソンは、5年ごとに全道一斉に野生の草花の開花状況を調査するもの。

当クラブの呼びかけに賛同いただいた住民の方や会員など、準備から調査まで19名が参加。

調査地区は、登栄床(トエトコ)、三里浜、上湧別の3地区を担当し、開花調査は、6月17日に14名が図鑑を片手に調査を行いました。

調査は、ハマナス、カタクリ、コウリンタンポポなどの特定10種を調査する特定調査と当日咲いている草花を探す一般調査、オオマルハナバチやチョウなど花に来る昆虫10種を調査する特定昆虫調査の3種類の調査を行いました。

調査当日の17日は、曇りのち雨、やや風も強いといった生憎の天候でしたが、次の種類数が確認されています。

詳しい資料は現在作成中です。

◎登栄床地区

- 〔一般草花〕 33種
- 〔特定10種〕 3種
- 〔昆虫10種〕 1種

◎三里浜地区

- 〔一般草花〕 15種
- 〔特定10種〕 1種
- 〔昆虫10種〕 1種

◎上湧別地区

- 〔一般草花〕 18種
- 〔特定10種〕 0種
- 〔昆虫10種〕 0種



Yu-pa |学校ビオトープ活動 ～芭露(バロウ)の自然を学校に～

芭露小学校には、芭露川の名残、三日月湖を利用して、80年ほど前に学校池として校庭に整備されています。

この学校池は、保護者や地域の人たちが手作業で手入れしてきましたが、周囲の環境の変化や時代の経過とともに関心も薄れ、「ドブ池」のような状態に。



池の環境改善のため、ヘドロの除去や水の入れ替え、埋め立てなども検討されましたが、他により改善方法がないか、専門家のアドバイスを受けることとなりました。2005年にユニオンデータシステム(株)(札幌市)から2人の環境アドバイザーの派遣を受け、学校池を調査。エゾホトケドジョウやヤチウグイ、エゾトミヨなどの絶滅が心配される希少な生き物たちが生息していることがわかりました。言わば、この池は、芭露川、芭露地域の環境の縮図のような存在であることがわかり、自然学習活動の場(ビオトープ)として活用することとなりました。



以来、毎年2回(6月、10月)、学校や教育委員会、自治会、PTAなど、地域の皆さんと一緒に、YU-PALも池の環境整備と水質浄化、生き物・水質調査などを行い、ビオトープ学習のお手伝いをしています。

今年は6月9日に学校やPTA、自治会、当クラブのメンバーが、水草の除去や浄化槽の手入れ、水棲生物調査などを行いました。



クリーン・ザ・リバーinゆうべつ川

～私たちのフィールドをきれいに～

私たちの活動するフィールド「湧別川」をきれいにしようと、6月3日に「クリーン・ザ・リバーinゆうべつ川」を開催しました。

この活動は、湧別川の川原や中洲などのゴミをカヌーに乗りながら、拾う活動で、今年14回目を迎えました。

当日は、5月中旬から低温、曇天が多かった天候がうそのような 初夏を思わせる好天。湧別や遠軽、北見、旭川などからメンバーや一般の方など21名が参加してくださいました。

スタート地点の中湧別橋下から約5キロ先のゴールの河口まで、約5キロの川原や中洲のゴミを拾いながら、のんびりと下りました。



びりとドゥりました。

また、川面や川岸には、カモやカワセミ、ショウドウツバメ等のさえずりや飛び交う姿を楽しみながらのツーリングとなりました。



スタート地点の川原を清掃



穏やかな天候の中、カヌーツーリングを楽しみました

2012 ゆうべつアウトドアクラブ総会を開催しました

2012年度の湧別アウトドアクラブを4月27日にクラブハウスで開催しました。会員8名ほどが出席し、2010年度の活動報告、決算、2012年度の活動計画、予算を行いました。

○ [2011年度活動報告、2012年度活動計画](#)